

平成28年度高知県学力定着状況調査の公表に係る県教育長コメント

平成29年2月23日

5回目の実施となりました「高知県学力定着状況調査」の結果を公表いたします。

本調査は、全国学力・学習状況調査等の結果から明らかとなった知識・技能の定着やそれらを活用して課題を解決する力の育成状況を改善するため、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、その結果等をもって、学習内容の充実や指導方法の工夫・改善を行うことを目的に実施するものです。また、これからの社会を生き抜いていく上で必要とされる「課題を発見し、解決していくために必要な思考力、判断力、表現力等」を問う内容を出題し、そのような力を育成するための授業づくりへのメッセージを込めております。

今回の調査結果を見ますと、漢字やローマ字を含む語彙の習得や文法事項の理解は、これまでと同様によくなされています。算数・数学においては、計算力の向上が見られ、理科についても、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られてきています。日々の家庭学習や放課後等の補習学習が充実してきたことの現れであると思います。また、説明的文章の要旨を読み取る読解力や根拠を明らかにして表現する力についても一定の伸びが見られています。

ただ、獲得した知識や技能を、日常生活の場面に当てはめて課題の解決方法を考えることや、知識や技能を活用して、問題を解決する力、また、論理的に表現する力については、まだ、課題が残る状況です。

このような課題を解決するためには、学習指導要領の改訂に向けた中央教育審議会答申においても述べられているように、知識の理解の質をさらに高め、資質・能力を育む授業へと授業の質的変換を図り、児童生徒の主体的・対話的で、深い学びを実現していくことが求められます。

各学校や市町村教育委員会におかれましては、本調査を活用し、児童生徒一人一人の学習内容の定着状況を把握・分析するとともに、児童生徒の学力や可能性をさらに伸ばしていくよう、教員集団がベクトルを合わせつつ、切磋琢磨しながら、互いに学び合い、組織的に授業改善が図られるよう取り組んでいただきたいと思います。

県教育委員会としましても、本年度からスタートした「高知県教育大綱」や「第2期高知県教育振興基本計画」において、組織的に指導力の向上や授業改善に取り組む「チーム学校の構築」を推進するとともに、児童生徒一人一人のつまずきに応じた指導が行えるよう、放課後の学習支援の充実を図ってまいりました。これらの取り組みをより強化、加速化するとともに、「探究的な学習づくり」等、授業研究をより一層進め、各学校の取り組みを支援してまいります。

さらに、市町村教育委員会や保護者や地域の方々との連携を一層強め、子どもたちが「夢」や「志」をもって、社会が激しく変化するこれからの時代を自らの力で生き抜くための力を育めるよう、取り組みを充実させてまいります。

高知県教育長 田村 壮児